「マスクを強要するな！」

現在、政府はマスクの着用について「屋外では原則不要」という方針を出していますが、5類引き下げに伴い「屋内でも症状がない場合は原則不要」という方針に緩和するよう検討していると報じられています。巷では賛否の声があるようですが、そもそもマスクの着用は最初から「任意」です。法的規制など何もありません。5類になっても同じ。着けたい人は着ければいいし、着けたくない人は着けなければいい。とにかく政府は「着けない人に強要するな！強制するな！」というメッセージを出すだけで解決する問題です。

しかし、これまで常時マスクを着用することで感染予防が出来ると洗脳されてきた皆さんにとっては、外すことに不安を抱く人も多いかもしれません。まず大前提としてマスクに感染予防効果はありません。これは科学的に立証されている世界的な事実です。ウイルスの大きさ 0.1μm に対し不織布繊維の隙間は 5μm。50 倍の穴が空いているのでウイルスはマスクを素通りします。飛沫を抑えると言っても大きい飛沫のみで、呼気に含まれる細かい飛沫（エアロゾル）は押えられません。常時マスク着用者と未着用者の感染率を比較した大規模実験において、両者に有意差は認められないという結果が出ています。そして、無症状者が感染を広げているとされてきましたが、無症状者からの感染率を調べる大規模研究の結果、その確率は 0～0.07%と極めて低いことが判明しています。以上のことから無症状者のマスク着用は殆ど意味がなく、咳やくしゃみなどの症状の有る人は多少飛沫が抑えられるので着用が推奨されるというのが科学的見解です。

All Nippon NewsNetwork(ANN)

諸外国は、科学的根拠を重視しマスクの着用義務を廃止しました。合理的な考え方です。しかし日本人は感情が優先されてしまう。普通に考えればマスク着用率世界一の日本が感染者数世界一の時点で、マスクに感染予防効果が無いと気付きます。きっと多くの日本人も本当は気付いているはず。でも外せないのは、周りの目を気にする同調圧力と、今まで守ってきたルールが正しいと思い込みたい正常性バイアスが要因です。感情にのみ従う人は何を言われても外すことは出来ないでしょう。それはもはや仕方がない。ですが他人に強要するな！それだけ守ってほしいと願います。

この光景に違和感の無い人は、もう手遅れかもしれません…👆